

2023 年度事業報告

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 道普請人

1. 事業の成果

事業国	事業名	資金源
a) ケニア	1. メル郡における道路整備部門からの生活向上支援*	世界銀行経由 日本社会開発基金（JSDF）
	2. ケニアにおけるクリーン・クッキング・アクション（ACCA）プロジェクト*	国連開発計画（UNDP）日本政府補正予算事業 2022
b) ウガンダ	1. ウガンダ北部における道路インフラ整備・地域の緑化を通じた強靱なコミュニティづくり	令和 4 年度 外務省 N 連
	2. 泉の保護、植林を通じた強靱なコミュニティ整備	第 18 回 TOTO 水環境基金
c) エチオピア	給水インフラ（ため池）の建設による家畜への干ばつ被害の軽減*	国際労働機関（ILO）経由 オランダ外務省拠出 プロスペクト事業
d) ルワンダ	ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた農道整備体制の確立	令和 4 年度外務省 N 連
	住民主導の道路整備と道路周辺緑化モデルの展開	公益財団法人 日本国際協力財団
e) ブルキナファソ	ブルキナファソ国内ボランティア対象土のう工法研修*	JICA ブルキナファソ
f) バングラデシュ	現地 NGO と連携した住民参加による道路整備事業	公益財団法人 日本国際協力財団
	雇用促進に向けたコミュニティへの道路整備技能研修	公益財団法人 日本国際協力財団
g) 東ティモール	土のうを用いた道路補修技術支援	（特非）パルシックが実施する N 連事業への協力
h) ブルキナファソ 2	都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業	令和 1 年度外務省 N 連
i) 日本	講演、広報活動	団体自己資金

*当事業は、現地事務所での活動（活動計算書には含めず）、N 連：外務省 NGO 連携無償資金協力

1. 事業の実施に関する事項

1. 事業名、2. 事業内容、3. 事業実施期間、4. 事業実施国・地域、5. 従事者数、6. 裨益者、7. 事業費について下記にまとめる。

a) ケニア

ケニア_1 *ケニア事務所受託事業（一部国内）
事業名）

メル郡における道路整備部門からの生活向上
支援（世銀事業：日本社会開発基金（JSDF））

事業内容）

- a. 若者参加型の支線道路補修
- b. 若者グループの雇用創出支援

事業期間）

2022 年 4 月～2025 年 6 月

実施国、地域）

ケニア共和国 メル郡

従事者数）

4 名（木村、福林、田川、岩村）

裨益者）

直接裨益：1,250 名（3 年間の訓練生合計）

間接裨益：13,500 名（道路ユーザー合計）

事業費）

USD 906,014（合計：USD 2,750,000）

うち国内（275,010 円）

ケニア_2 *ケニア事務所受託事業

事業名）

ケニアにおけるクリーン・クッキング・アクション（ACCA）プロジェクト

（国連開発計画（UNDP）

日本政府補正予算事業 2022））

事業内容）

5 寄宿学校における LP ガスカマド・タンクの設
置とキッチンの改修

事業期間）

2023 年 8 月～2024 年 3 月

実施国、地域）

ケニア共和国 ナイロビ郡、マチャコス郡、キ
ツイ郡、カジアド郡、ニェリ郡

従事者数）

4 名（木村、福林、ドイル、岩村）

裨益者）

5 郡 5 寄宿学校の生徒合計 5,000 名

事業費）

USD 219,614（32,942,043 ケニアシリング）

b) ウガンダ_1

事業名）

ウガンダ北部における道路インフラ整備・地域
の緑化を通じた強靱なコミュニティづくり（外
務省 R4 年度 N 連（1 年次））

事業内容）

- a. 「土のう工法」を用いた農道補修訓練
- b. 農民との育苗・植林活動
- c. 省エネ型改良かまど作成訓練
- d. 小学校での衛生・健康啓発活動

事業期間）

2023 年 3 月～2024 年 3 月

実施国、地域）

ウガンダ共和国 北部地域 グル県

従事者数）

4 名（木村、福林、渡辺、岩村）

裨益者）

直接裨益：150 名（訓練生合計）

間接裨益：1,500 名（2 コミュニティ人口合計）

事業費）

USD 256,337（34,292,402 円）

ウガンダ_2

事業名）

泉の保護、植林を通じた強靱なコミュニティ整
備（第 18 回 TOT0 水環境基金）

事業内容）

- a) 泉の水源保護施設 1 基の建設
- b) 小学校における育苗場 1 箇所の整備

事業期間）

2023 年 4 月～2024 年 3 月

実施国、地域)
 ウガンダ共和国 中央地域 ムコノ県
 従事者数)
 3 名 (木村、福林、岩村)
 裨益者)
 800 名 (対象コミュニティ住民)
 事業費)
 2, 739, 775 円

c) エチオピア *ウガンダ事務所受託事業 (一部
 国内)
 事業名)
 給水インフラ (ため池) の建設による家畜への
 干ばつ被害の軽減 (国際労働機関 (ILO) オラン
 ダ外務省拠出 プロスペクト事業)
 事業内容)
 住民参加による 2 ため池の作成
 事業期間)
 2022 年 12 月～2024 年 6 月
 実施国、地域)
 ソマリ州ジジガ市
 従事者数)
 4 名 (木村、福林、田川、岩村)
 裨益者)
 直接裨益 : 80 名 (訓練生)
 間接裨益 : 400 名 (対象コミュニティ住民)
 事業費)
 USD 200, 837 (合計 : USD 367, 806)
 うち国内 (813, 529 円)

d) ルワンダ_1
 事業名)
 「土のう工法」研修の全国展開とルワンダ国の
 自律的な未舗装道路整備体制の確立に向けた
 体制づくり (3 年次) (外務省 R4 年度 N 連)
 事業内容)
 農村道路整備組合代表者を対象としたコミュ
 ニティアkses道路補修技術移転
 事業期間)
 2023 年 3 月～2024 年 3 月

実施国、地域)
 ルワンダ共和国、東部州 5 郡
 従事者数)
 4 名 (木村、福林、渡辺、千葉)
 裨益者)
 訓練参加者 250 名 道路周辺住人 20000 人
 事業費)
 41, 650, 673 円 (318, 118. 6 ドル)

ルワンダ_2
 事業名)
 住民主導の道路整備と道路周辺モデルの展開
 (2023 年公益財団法人日本国際協力財団)
 事業内容)
 丘陵地における土壌保全と植林
 事業期間)
 2023 年 4 月～2024 年 3 月
 実施国、地域)
 ルワンダ共和国、東部州 5 郡
 従事者数)
 3 名 (木村、福林、千葉)
 裨益者)参加者 2, 321 名 道路周辺住人 20, 000 人
 事業費)
 2, 095, 021 円

e) ブルキナファソ *ルワンダ事務所受託事業
 事業名)ブルキナファソ国内ボランティア対象土
 のう研修 (JICA ブルキナファソ)
 事業内容)ブルキナファソの国内ボランティアを
 対象とした短期土のう研修
 事業期間)
 2023 年 11 月
 実施国、地域)
 ブルキナファソ ワガドゥグ市
 従事者数)
 3 名 (木村、福林、千葉)
 裨益者) 20 名 (ナショナルボランティア 14 名、
 政府関係者)
 事業費)
 130, 625 円

f) 東ティモール

事業名)

女性の生計向上を通じた子どもの栄養改善事業(NPO 法人パルシックが実施する外務省 R4 年度 N 連 1 年次にて協力)

事業内容)

住民参加での道路整備技術支援

事業期間)

2023 年 3 月～2024 年 2 月

実施国、地域) 東ティモール アイレウ県、アイナロ県およびエルメラ県エルメラ郡

従事者数)

3 名 (木村、福林、田川)

裨益者) 200 人

事業費) 0 円

g) バングラデシュ

事業名)

現地 NGO と連携した住民参加による道路整備事業 (JICF) (2022 年度国際協力 NPO 助成成長型事業)

事業内容)

土のうを用いた道路補修技術支援

事業期間)

2022 年 4 月から 2023 年 6 月

実施国、地域)

バングラデシュ人民共和国・ロンプール管区・ディナジプール県・パルガオン村

従事者数)

3 名 (木村、福林、川合)

裨益者)

パルガオン村の少数民族 (Santal) 150 名

事業費)

967,183 円

バングラデシュ_2

事業名)

雇用促進に向けたコミュニティへの道路整備技能研修 (JICF) (2023 年度国際協力 NPO 助成成長型事業)

事業内容)

土のうを用いた道路補修技術支援

事業期間)

2023 年 4 月から 2023 年 12 月

実施国、地域)

バングラデシュ・ロンプール管区・ディナジプール県・ハブラユニオン・ラムライプール村

従事者数)

3 名 (木村、福林、川合)

裨益者)

バングラディッシュ・ロンプール管区・ディナジプール県・ハブラユニオン・ラムライプール村の住民 149 名

事業費)

3,008,657 円

h) ブルキナファソ 2

事業名)

都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業 ((外務省 R1 年度 N 連))

事業内容)

土のうを用いた道路補修技術支援と女性への小規模金融と起業支援

事業期間)

2019 年 12 月から 2021 年 6 月

実施国、地域)

ブルキナファソ

*カスカード地方コモエ県バンフォラ市

*ブクル・ドゥ・ムウン地方バレ県ボロモ市

*オーバッサン地方テュイ県ウンデ市

従事者数)

3 名 (木村、福林、森重)

裨益者)

研修参加者: 未舗装道路整担当最大 109 名

実地研修工事参加住民女性: 3 都市 160 名

事業費)

9,532,110 円 (189,638.76 ユーロ)

i) 日本

事業名)

国内・講演・広報など共通事業

事業内容)

a. 各地で講演会、広報資料作成、配布

事業期間)

2023 年 4 月から 2024 年 3 月

実施国、地域)

日本国内

従事者数)

10 名 (木村、岸田、日下部、児島、瀧川、田
中、若山、中井、福林、川勝)

裨益者)

国内、不特定多数

事業費)

6,340,585 円

事業国	No.	事業名	資金源	事業費合計	通貨	23年度事業費	契約事業体
a) ケニア	1	メル郡における道路整備部門からの生活向上支援*	世銀事業：日本社会開発基金（JSDF）	2,750,000	USD	906,014	CORE Kenya
					円	275,010	道普請人
	2	ケニアにおけるクリーン・クッキング・アクション（ACCA）プロジェクト*	国連開発計画（UNDP）（日本政府補正予算事業2022）	219,614	USD	219,614	CORE Kenya
b) ウガンダ	1	ウガンダ北部における道路インフラ整備・地域の緑化を通じた強靱なコミュニティづくり	令和4年度 外務省N連（1年次）	34,292,402	円	34,292,402	道普請人
	2	泉の保護、植林を通じた強靱なコミュニティ整備	第18回 TOTO水環境基金	2,739,775	円	2,739,775	道普請人
c) エチオピア	1	給水インフラ（ため池）の建設による家畜への干ばつ被害の軽減*	国際労働機関（ILO）経由 オランダ外務省拠出 プロスペクト事業	367,806	USD	200,837	CORE Kenya
					円	813,529	道普請人
d) ルワンダ	1	ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた農道整備体制の確立（3年次）	外務省R4年度N連	41,650,673	円	41,650,673	道普請人
	2	住民主導の道路整備と道路周辺緑化モデルの展開	公益財団法人 日本国際協力財団	2,095,021	円	2,095,021	道普請人
e) ブルキナファソ	1	ブルキナファソ国内ボランティア対象土のう研修	JICAブルキナファソ	130,625	円	130,625	道普請人
f) 東ティモール	1	女性の生計向上を通じた子どもの栄養改善事業	* NPO法人バルシックとの連携（外務省R4年度N連1年次）	0	円	0	道普請人
g) バングラデシュ	1	現地NGOと連携した住民参加による道路整備事業	公財）日本国際協力財団（2022年度国際協力NPO助成成長型事業）	2,948,573	円	967,183	道普請人
	2	雇用促進に向けたコミュニティへの道路整備技能研修	公財）日本国際協力財団（2023年度国際協力NPO助成成長型事業）	3,008,657	円	3,008,657	道普請人
h) ブルキナファソ	1	都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用助成の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業	令和1年度 外務省N連（1年次）	9,532,110	円	9,532,110	道普請人
h) 日本	1	講演、広報活動	団体自己資金	6,340,585	円	6,340,585	道普請人

2023年度事業費合計

1ドル＝ 132円

道普請人	円	101,845,570	
CORE Kenya（ケニア事務所）	USD	1,326,465	175,093,380
CORE Uganda（ウガンダ事務所）	USD	0	0
CORE Rwanda（ルワンダ事務所）	USD	0	
合計	円	276,938,950	

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」
という意識を広げたい

2023年度上期活動概要



ウガンダN連事業：かまど作成訓練生とのビジネス展開への打合せ

「チャリティーからビジネスへ」。「求職者から雇用者へ」。
道路整備やかまど作成の技能訓練を受けた若者たち
へ、自分達のスキルを活かした持続的な生計向上につ
ながるよう、ウガンダではビジネス展開へのお手伝いを
しています。



認定NPO法人 道普請人

2023年度上半期活動内容

主な活動	2023					
	4	5	6	7	8	9
ケニア						
世界銀行：日本社会開発基金（JSDF）（木村、福林、岩村）*1						
UNDP日本政府補正予算事業 2022（木村、福林、岩村、ドイル）*1						
ウガンダ						
外務省令和4年度NGO連携無償資金協力事業 1年次（木村、福林、岩村、渡辺）						
TOTO水環境基金 泉の保護・植林事業（木村、福林、岩村）						
ルワンダ						
外務省令和4年度NGO連携無償資金協力事業第2期3年次（木村、福林、渡辺、千葉）						
（公財）日本国際協力財団助成事業（木村、福林、千葉）						
その他事業国						
エチオピア：ILO オランダ政府拠出資金事業（木村、福林、岩村）*2						
東ティモール：（特非）パルシックが実施するN連事業への協力（福林）						
バングラデシュ：（公財）日本国際協力財団助成事業（木村、福林、川合）						
国内						
広報活動（木村、岸田、日下部、田中（稔）、瀧川、児島、若山、中井、福林、川勝）						

*1 ケニア事務所契約事業 *2 ウガンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名：メル郡における道路整備部門からの生活向上支援

資金協力団体：世界銀行（日本社会開発基金（JSDF））

事業期間：2021年4月から2025年6月（4年事業）（ケニア）

事業名：クリーン・クッキングアクションによる緑再生事業

資金協力団体：UNDP（国連開発計画）（令和4年度日本政府補正予算事業）

事業期間：2023年9月～2024年3月（ケニア）

事業名：ウガンダ北部における道路インフラ整備・地域の緑化を
通じた強靱なコミュニティづくり（第1年次）

資金協力団体：令和4年度外務省日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2023年3月31日～2024年3月30日（ウガンダ）

事業名：泉の保護、植林を通じた強靱なコミュニティ整備

資金協力団体：第18回 TOTO水環境基金

事業期間：2023年4月～2024年3月（ウガンダ）

事業名：ソマリ州ケブリベアにおけるため池の作成

資金協力団体：ILO（国際労働機関）オランダ政府資金拠出事業

事業期間：2022年12月～2024年5月（エチオピア）

事業名：ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた
農道整備体制の確立

資金協力団体：令和4年度外務省日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2023年3月から2024年3月（ルワンダ）

事業名：住民主導の道路整備と道路周辺緑化モデルの展開

資金協力団体：公益財団法人 日本国際協力財団（JICF）

事業期間：2023年4月から2024年3月（ルワンダ）

事業名：雇用促進に向けたコミュニティへの道路整備技能研修

資金協力団体：公益財団法人 日本国際協力財団（JICF）

事業期間：2023年7月から2023年12月（バングラデシュ）

事業名：現地NGOと連携した住民参加による道路整備事業

資金協力団体：公益財団法人 日本国際協力財団（JICF）

事業期間：2023年4月から2023年6月（バングラデシュ）

主な広報活動

月日	内容
4月1日	木村理事長の論説「科学技術交流を通じて研究者の「気概」を伝えよ」が、国際開発ジャーナル2023年4月号に掲載されました。
5月8日	JICAホームページで、ブルキナファソでの現地ナショナルボランティアへの「土のうによる道路整備研修と、その成果について紹介されました。
6月17日	2023年第1回通常総会を、開催いたしました。
7月25日	国連機関「経済社会理事会」(ECOSOC)との協議資格を取得しました。
8月3日	ルワンダのカヨンザ郡での道直し訓練の様子が現地TVで放映されました。
9月26日	道普請人の活動がWEDGE9月号(新幹線グリーン車で配布の雑誌)で紹介されました。

活動報告

ウガンダ

・計150名の住民に対し道路補修、かまど作成、育苗・植林に関する技術移転を行いました。560mの農道を補修、331基の省エネかまどを作成、7.5ヘクタールの植林を完了しました。今後設置した育苗場における苗木生産や植林を継続します。(R4外務省N連)



土のう工法を用いた農道補修訓練



道路補修訓練生に修了証の授与

・生活水の水源である泉の衛生環境を整備しました。また、水源を利用する地区の小学校に育苗場を設置しました。
(第18回TOTO水環境基金)



育苗に励む小学生

ケニア

・道路補修訓練が修了した20グループ500名の若者に対して、ビジネス起業支援を続けています。また、新たなフェーズの15グループ375名の訓練生を選定しました。(世界銀行)



訓練生選定会



道直し訓練に参加する訓練生の登録会

・小学校の給食調理効率を上げ、薪の使用を削減すること(クリーン・クッキング)を目指し、改良型かまど建設プロジェクトを開始しました。(UNDP)

エチオピア

・水の確保が困難な乾燥地にて、ヤギやラクダなど家畜用の水を貯水する大型ため池2基(6,000㎡)を建設中です。田川専門家が現地入りし、現場のエンジニアに測量や丁張り技術の指導を行いました。(ILOエチオピア)



田川専門家による丁張り指導 (ILO)

バングラデシュ

・日本国際協力財団(JICF)からの助成の元、昨年度に引き続きバングラデシュでの道直し活動を実施しています。
・現地NGOおよび昨年度訓練生が指導リーダーとなり、新たなコミュニティへと技術が引き継がれています。



現地NGOおよび昨年度訓練生主導による道直しデモ



道普請人スタッフによる座学研修

ルワンダ

・N連事業最終年度(6年目)となり、ルワンダの(キガリを除く)全27郡で、総計2077人の若者への道直し訓練を終えました。
・ルワンダ政府運輸庁が、全国で道路の日常点検と保守を委託している零細道直し企業のメンバーを、土のう工法研修に招聘しています。土のう工法は、ルワンダ各地で道直しに利用されています。



運輸庁が招へいた零細道直し企業のメンバーへの、土のう研修



国立高等技術学校土木科道路整備コースに新たに設けられた、土のう実技研修に協力



・国際労働機関(ILO)主催の、アフリカでの人力施工(LBT)による道路整備実践者会議で、ルワンダでの事例を発表しました。当時のルワンダ労働大臣(現ILOアフリカ局長、左写真中央)から、参加証を受理しました。

施工延長 (2023年9月末日現在)

	累計(m)	2023年度 上半期(m)
ウガンダ	32,220	520
バングラデシュ	970	15
ルワンダ	7,389	1,251
その他	205,298	0
計	245,877	1,786

◎ お知らせ

道普請人への、ウェブからのご寄付と賛助会員のお手続き方法が、変更になりました。新たな決済サービスをご利用ください。詳細は右側QRコードよりご確認くださいませ。



寄付決済



賛助会員

認定NPO法人です！

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。
詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

認定NPO法人 道普請人

事務局: 福林良典

Tel: 075-343-7244

E-mail: info@coreroad.org

URL: <http://coreroad.org/>

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」
という意識を広げたい

2023年度下期活動概要



ウガンダN連事業:住民主体の育苗の様子

薪や建設資材として木材を利用しつつ、くらしの環境を
自分たちで持続可能にするため、育苗や植林活動への
支援も行っています。



認定NPO法人 道普請人

2023年度下半期活動内容

主な活動	2023			2024		
	10	11	12	1	2	3
ケニア						
世界銀行: 日本社会開発基金 (JSDF) (木村、福林、岩村、田川)*1						
UNDP日本政府補正予算事業 2022 (木村、福林、 Doyle、岩村)*1						
ウガンダ						
外務省令和4年度NGO連携無償資金協力事業 1年次 (木村、福林、岩村、渡辺)						
TOTO水環境基金 (木村、福林、岩村)						
ルワンダ						
外務省令和4年度NGO連携無償資金協力事業第2期3年次 (木村、福林、渡辺、千葉)						
(公財) 日本国際協力財団 (木村、福林、千葉)						
その他事業国						
エチオピア: オランダ外務省 ILO Prospect事業 (木村、福林、岩村、田川)*2						
ブルキナファソ: JICAブルキナファソ事務所 現地道路研修 (木村、福林、千葉)*3						
バングラデシュ: (公財) 日本国際協力財団 (木村、福林、川合)						
国内						
広報活動 (木村、岸田、日下部、田中、瀧川、児島、若山、中井、福林、川勝)						

*1 ケニア事務所契約事業 *2 ウガンダ事務所契約事業 *3 ルワンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名: メル郡における道路整備部門からの生活向上支援

資金協力団体: 世界銀行 (日本社会開発基金 (JSDF))

事業期間: 2021年4月から2025年6月 (4年事業) (**ケニア**)

事業名: クリーン・クッキングアクションによる緑再生事業

資金協力団体: UNDP (国連開発計画) (2022年度日本政府補正予算事業)

事業期間: 2023年9月～2024年3月 (**ケニア**)

事業名: ウガンダ北部における道路インフラ整備・地域の緑化を
通じた強靱なコミュニティづくり (第1年次)

資金協力団体: 令和4年度外務省日本NGO連携無償資金協力

事業期間: 2023年3月31日～2024年3月30日 (ウガンダ)

事業名: 泉の保護、植林を通じた強靱なコミュニティ整備

資金協力団体: 第18回 TOTO水環境基金

事業期間: 2023年4月～2024年3月 (**ウガンダ**)

事業名: ソマリ州ケブリベアにおけるため池の作成

資金協力団体: ILO (国際労働機関) オランダ政府資金拠出事業

事業期間: 2022年12月～2024年6月 (**エチオピア**)

事業名: ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた
農道整備体制の確立

資金協力団体: 令和4年度外務省日本NGO連携無償資金協力

事業期間: 2023年3月から2024年3月 (**ルワンダ**)

事業名: 住民主導の道路整備と道路周辺緑化モデルの展開

資金協力団体: 公益財団法人 日本国際協力財団 (JICF)

事業期間: 2023年4月から2024年3月 (**ルワンダ**)

事業名: JICAブルキナファソ事務所 現地道路整備研修

資金協力団体: JICAブルキナファソ事務所

事業期間: 2023年10月 (**ブルキナファソ**)

事業名: 雇用促進に向けたコミュニティへの道路整備技能研修

資金協力団体: 公益財団法人 日本国際協力財団 (JICF)

事業期間: 2023年7月から2023年12月 (**バングラデシュ**)

主な広報活動

月日	内容
10月10日	木村理事長の随想が、京都大学工学研究科の広報誌「京都大学 工学広報No.80」に掲載されました。
10月10日	学生ボランティア・松澤さん（ルワンダ）、同・土井さん（ウガンダ）の活動報告を掲載いたしました。
10月30日	道普請人の活動紹介動画を、YouTubeで公開しました。
11月6日	木村理事長の論説が、「国際開発ジャーナル11月号」に掲載されました。
12月5日	フランス語も堪能なルワンダ事務所職員が、ブルキナファソでインフラ省職員と国内ボランティアへ土のうによる道路整備の研修を行いました。JICAブルキナファソのホームページとYouTubeで紹介されています。
1月8日	阪神高速の季刊誌「阪神ハイウェイ」に、木村理事長の記事が掲載されています。
2月16日	ルワンダカヨンザ郡での道直し訓練の様子が、ルワンダ国営放送で報道されました。
2月17日	福岡教育大学付属久留米小学校6年生に向けた「地球規模の課題の解決と国際協力」の授業で、福林理事がゲストティーチャーとして話題提供をしました。
2月24日	WFWP（世界平和女性連合）京都が主催する国際協力講演会で、福林理事が基調講演を行いました。

活動報告

ウガンダ

・北部グル県での道路補修、かまど作成、育苗・植林の活動が完了しました。住民の育苗活動により計25,000株以上の苗木が生産され、地域の緑化のための植林が行われました。また、小学校にて衛生ワークショップを開催し、ゴミの分別や生理用タオルの裁縫セミナーを実施しました。（R4外務省N連）



小学生を対象としたゴミ分別指導



女子生徒を対象とした生理用タオルの裁縫セミナー

・ムコノ県では、ナマクワ小学校の環境クラブの小学生と15,000株以上の苗木を生産し、周囲の住民に無償で配布しました。また環境啓発トークを実施し、熱心に参加した子供達に文房具を供与しました（Trees for Books）。（TOTO基金）



小学生が主体で行う育苗活動

ケニア

・12グループ計300名に道路補修訓練を実施しました。8箇所計7,150mの道路が補修されました。また田川専門家が現地入りし、現地スタッフらに石積の技術指導を行いました。メルタウンの重要道路の通行性が向上し、沿線住民たちに大変喜ばれています。（世界銀行）



田川専門家（左から4人目）による指導



石積施工



完成したキッチンと女子学生

・ケニアの寄宿学校5校にて、熱効率のよい給食調理施設を設置しました。薪の利用を削減し、森林回復に寄与します。（UNDP）

エチオピア

・水の確保が困難な乾燥地にて、ヤギやラクダなど家畜用の水を貯水する大型ため池2基（6,000m³）が建設中です。（ILOエチオピア）



地元住民によるため池作成（ILO）

バングラデシュ

・60人の訓練生と共に、350mの農道を補修しました。事業終了後には現地行政が道路延長工事を決定し、さらなる訓練生の活躍が期待されます。また、近隣の建設会社代表らの高い関心があり、訓練生の雇用につながりつつあります。（日本国際協力財団）



道直し訓練開始式

ルワンダ

・N連事業6年目となり、ルワンダの首都キガリを除く全27郡での若者たち（総計2077人）への道直し訓練を終えました。インフラ省発行の「農道整備マスタープラン2020-2027」に土のう工法が掲載されました。また、国の職業訓練コース「道路整備コース2年次」のカリキュラムに土のう工法が取り入れられるなど、成果をあげました。（R4外務省N連）



雨季後の点検整備研修

・ルワンダ東部州にて、多くの地域住民の協力を得て、道路周辺に合計25,500本を植樹しました。道行く人々には木陰ができたことと喜ばれています。（日本国際協力財団）



街路樹の植樹

施工延長（2024年3月末日現在）

	累計(m)	2023年度 下半期(m)
ケニア	67,938	7,150
バングラデシュ	1,320	350
その他	184,159	0
計	253,417	7,500

◎ お知らせ

道普請人への、ウェブからのご寄付と賛助会員のお手続き方法が、変更になりました。新たな決済サービスを、ご利用ください。詳細は右側QRコードよりご確認ください。



寄付決済



賛助会員

認定NPO法人です！

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

認定NPO法人 道普請人
事務局: 福林良典
Tel: 075-343-7244
E-mail: info@coreroad.org
URL: <http://coreroad.org/>